



第29回企画展

見付大久保家を彩った人々

11月4日(火)
~12月19日(金)

見付の大久保家は、遠江国惣社「淡海国玉(おうみくにたま)神社」の神官を代々務めた家系です。祖となる忠佐(ただすけ)は、戦国時代に磐田原(一言坂)の戦いなどで活躍し、「徳川十六神将」に数えられた武将です。元亀元年(1570)、徳川家康から惣社の神主に任ぜられ、後に息子弥九郎(やくろう)に神職を譲り、沼津城の城主となりました。



大久保忠尚

以来、弥九郎の子孫が江戸時代から大正時代に至るまで同社の神官を務めてきました。江戸中期には、一時母方の西尾姓を名乗りますが、後期の忠照(ただてる)の時代に大久保姓に復しています。

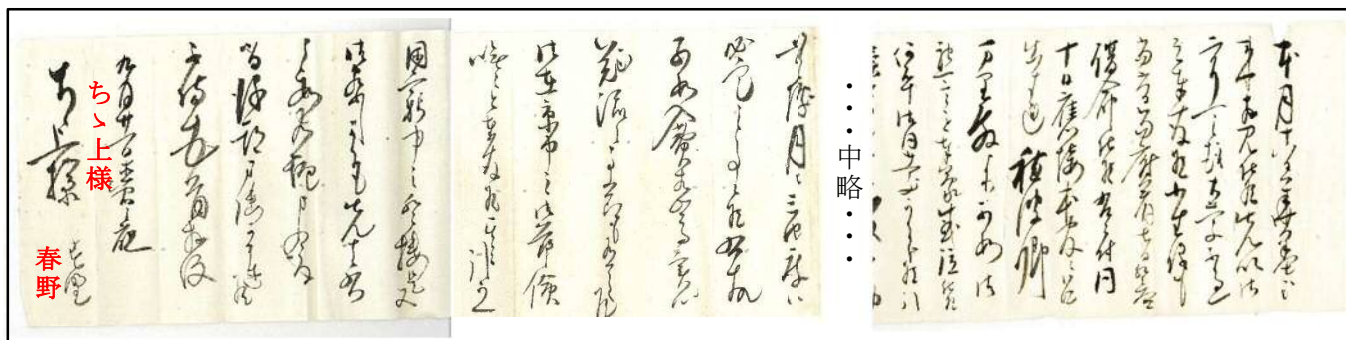
忠照の子の忠尚(ただなお)は、幼くして父を失い、国学者八木美穂(よしほ)に入門します。後に自宅に学塾を開いて多くの子弟を教育するとともに、和漢の書籍を集めた「磐田文庫」を開設しました。幕末に至り、国学を学ぶ遠州の神職らと遠州報国隊を結成し、息子の春野(はるの)は、東征軍に加わり江戸に下りました。

春野は御守衛大砲隊の取締として活躍しましたが、徳川家が駿府移封になると、見付には帰らないことを決意し、忠利(ただとし)を妹繁子の婿養子に迎え、見付惣社の神職を譲りました。二人は維新政府に仕え、忠尚は海軍省の役人になりましたが、春野は陸軍軍人となり、大将に進み、男爵となりました。春野は、常に見付の家を気かけ、只来(ただらい：現磐田郵便局辺り)に別荘を建て、度々見付に足を運んでいます。

幾多の困難を乗り越えながら、遠江の中心である淡海国玉神社を守り続けてきた大久保家の人々と、これに関わる人々の人間模様を、書簡などを通してご紹介します。



大久保春野



父忠尚あて春野書簡(部分) ※内容は、「大久保家の将来」について

企画展関連イベント

・展示解説 11月16日(日)、11月30日(日)

時 間： 10:00～、14:00～ 申込不要、直接会場へお越しください。

会 場： 歴史文書館展示室（竜洋支所内）

・バスツアー 11月20日(木)

10月1日(水) 申込受付開始（先着順）

時 間： 9:00 集合、15:20 解散（集合解散は見付駐車場）

見学場所： 賀茂真淵記念館、縣居神社、大久保家、旧見付学校など

（申込方法等詳細は「広報いわた 9月号」及び市ホームページをご覧ください。）

平常展開催中

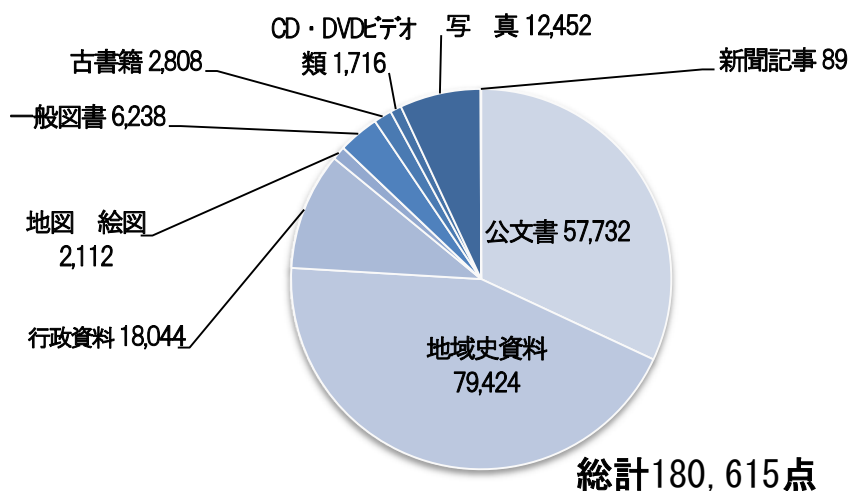
10月17日(金)まで！

自治会共有文書に見る戦争と市内の軍事施設

国の政策が、磐田市の人々をどのように戦争に巻き込んでいったか、当館所蔵資料を中心に紹介します。また、市内に設置された軍事関連施設の紹介もしています。ぜひ、ご覧ください。

会 場： 歴史文書館 1階・2階展示室

所蔵資料数（令和6年度末）



令和6年度末の所蔵資料総計は180,615点となりました。内訳は左のグラフのとおりです。

地域史資料として、10,171点を新たに寄贈していただきました。これらの資料は、今後、平常展などでご紹介していきます。

最近、増えています！
こんな時にはご相談ください。

- 古い家や蔵を壊すので、古文書や古写真などの資料を、磐田市へ寄贈したい。
- 郷土や先祖の研究のため、資料を紹介してほしい。



磐田市歴史文書館

所在地 〒438-0292 磐田市岡729-1

電話 0538(66)9112

FAX 0538(66)9722

E-Mail chiikishi@city.iwata.lg.jp

休館日 土・日・祝日・年末年始

開館時間 午前9時～午後5時